

拵伏見木偶

全
乙亥新板

正二作
春亭画

亥いふる

43
2378
284



2378
284

拵伏見見本

全部三冊

葛葉散人正二作 錦耕堂

勝川春亭画 土梓

拵伏見土偶の序

正二作 勝川春亭画

十萬堂の翁が今宮草小具へと進土偶の
 記小思ひしるるを例の志持るる趣向に
 津々孫あげたる土細工五常の五色の
 画器具ありく土塗かけ
 ぐはるぬぐ小供てある稲荷街道の
 拵の拵ぐこの拵伏見土偶と題する
 利

夾、そのの類

鳳凰軒述



百姓
李作

福富清之助



遊女
月夜

一の橋

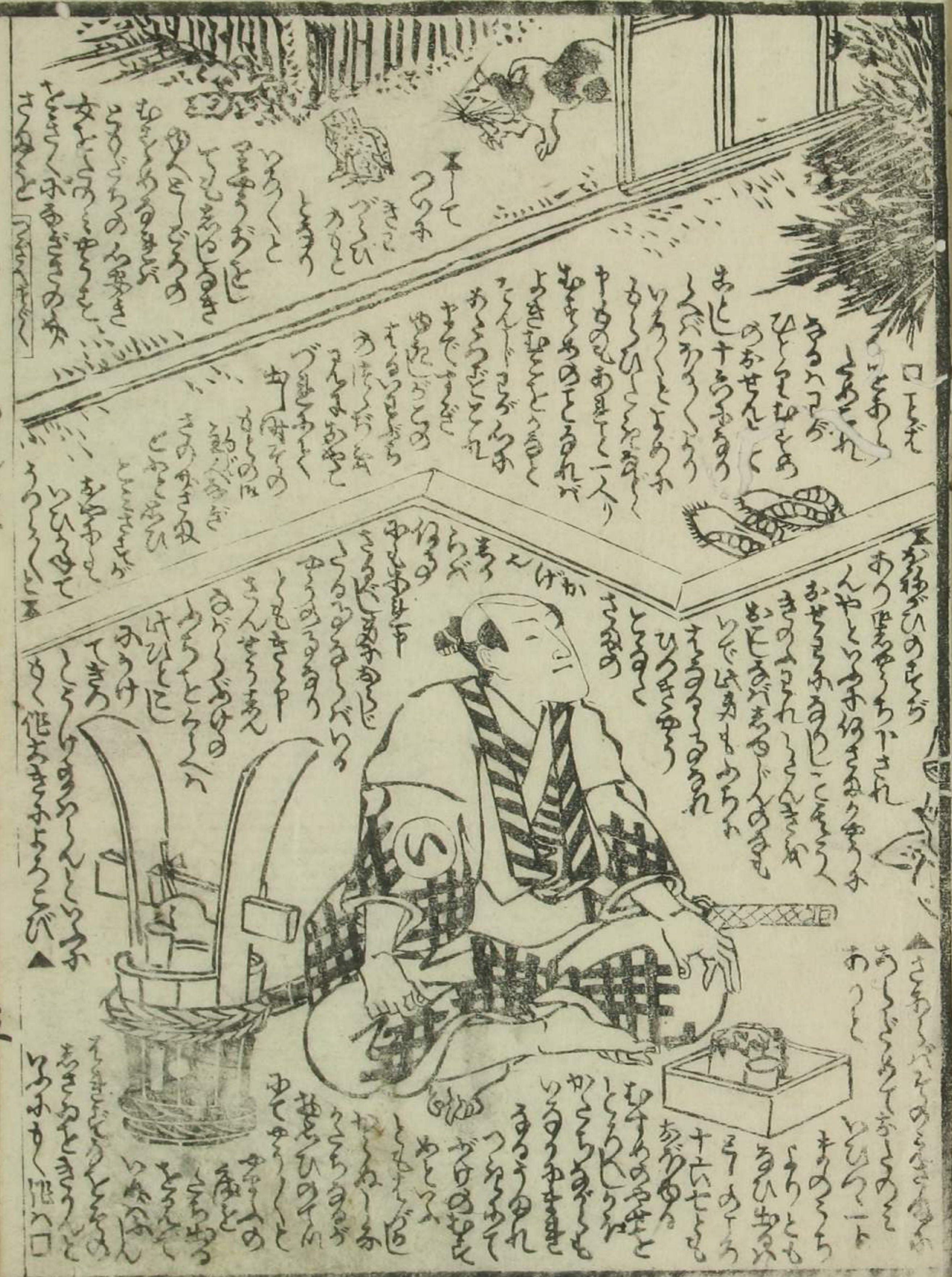


浪花俳諧師
來山

花
なげな
あはれ
病い都
来山







あはれうらやましい
 のふがたうらやましい
 まつたむねのまゝ
 娘をえんやうと云



こゝろの
 せうごうの
 おおとらたの
 ひくひりれ
 あしがはる
 まあつて
 のん

作
 さいの
 かん
 とん
 かん
 とん

あはれうらやましい
 のふがたうらやましい
 まつたむねのまゝ
 娘をえんやうと云
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...



あはれうらやましい
 のふがたうらやましい
 まつたむねのまゝ
 娘をえんやうと云
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...

あはれうらやましい
 のふがたうらやましい
 まつたむねのまゝ
 娘をえんやうと云
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...

〇伊女はもへんへかあむかあむ
 ちのト人のこらあむかあむかあむ
 けむらあむかあむかあむかあむ
 ちのこらあむかあむかあむかあむ
 ちのこらあむかあむかあむかあむ

〇伊女はもへんへかあむかあむ
 ちのト人のこらあむかあむかあむ
 けむらあむかあむかあむかあむ
 ちのこらあむかあむかあむかあむ
 ちのこらあむかあむかあむかあむ



〇伊女はもへんへかあむかあむ
 ちのト人のこらあむかあむかあむ
 けむらあむかあむかあむかあむ
 ちのこらあむかあむかあむかあむ
 ちのこらあむかあむかあむかあむ

〇伊女はもへんへかあむかあむ
 ちのト人のこらあむかあむかあむ
 けむらあむかあむかあむかあむ
 ちのこらあむかあむかあむかあむ
 ちのこらあむかあむかあむかあむ





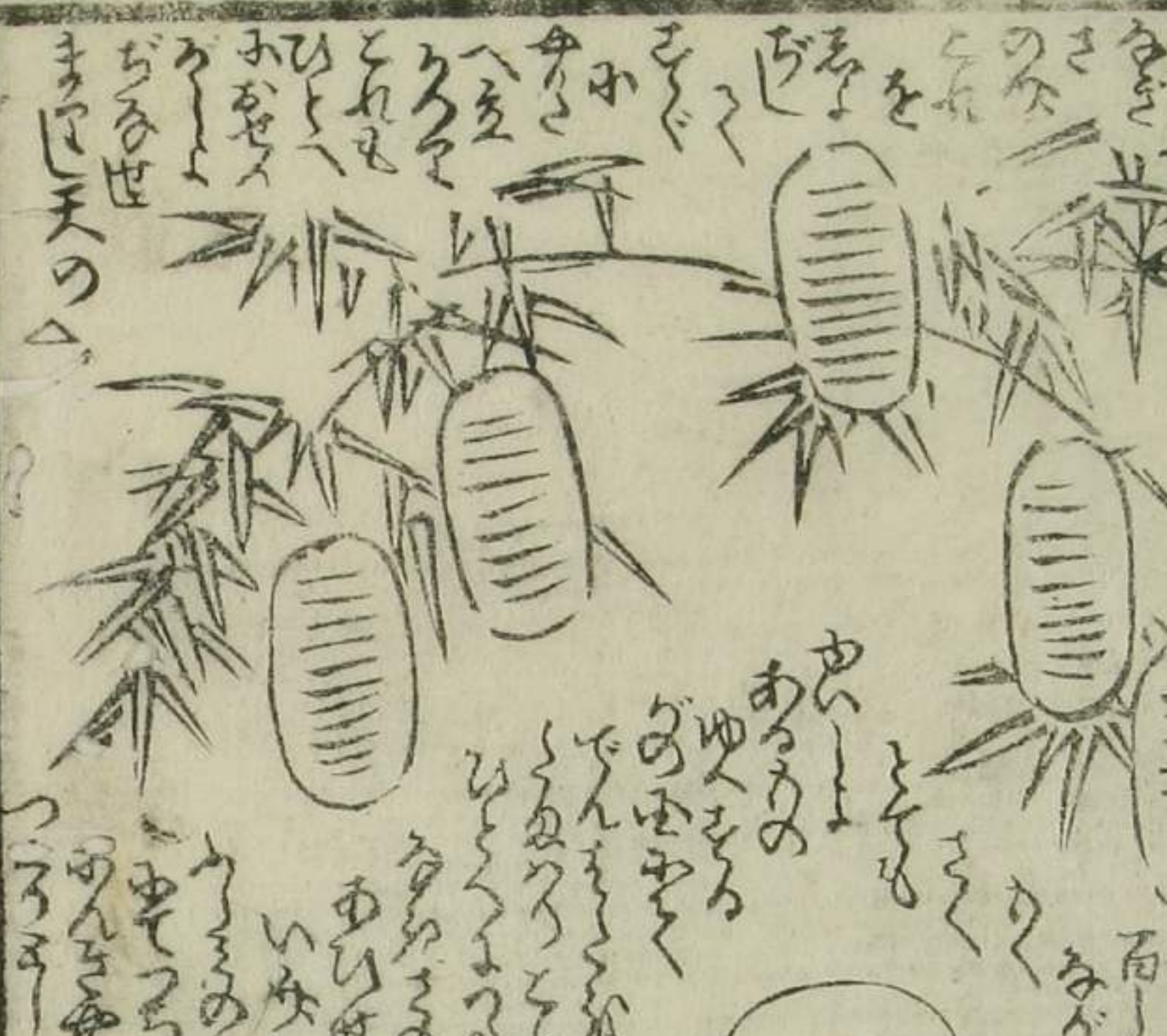
Handwritten text in vertical columns, likely a monologue or dialogue. The text is densely packed and appears to be in a specific dialect or style of Japanese calligraphy.



Handwritten text in vertical columns, continuing the narrative or dialogue from the left page. The text is arranged in neat columns, with some characters in red ink.



正二作国書



歌川春亭画圖

新版稗史目錄

見一 孫算女行烈 六市川團十郎作 勝川春亭画

敲討先程御笑州 三十返舎一九作 墨亭月磨画

挿伏見木偶三冊 葛葉山人正二作 勝川春亭画

右外誌新板多仕入... 馬喰町二丁目

地本並錦繪問屋 山口屋藤兵衛版

